

平成29年度 宮城県考古学会 総会・研究発表会

特集 被災文化財等 保全活動の6年間 を振り返る



歌津魚竜館 2階展示室の様子

東日本大震災では多数の文化財等が被災し、その保全活動がかつてない規模で進められました。今回の特集では、震災後6年間の被災文化財等の保全活動を振り返り、意義と成果を確認するとともに、残された課題や今後の展望を考えたいと思います。

《総 会》 10:00~(会員のみの参加)

《研究発表会》 11:00~

○特 集『被災文化財等保全活動の6年間を振り返る』

11:00~11:30 趣旨説明・報告1「宮城県での被災文化財等保全活動の成果と課題」

東日本大震災対策特別委員会 藤澤敦 氏

11:30~12:00 報告2「資料ネット活動の現状と今後—宮城歴史資料保全ネットワークの活動を中心に—」 宮城歴史資料保全ネットワーク 天野真志 氏

13:00~13:30 報告3「宮城県被災文化財等保全連絡会議の活動と今後」 東北歴史博物館 小谷竜介 氏

13:30~14:00 特別報告「福島県での被災文化財保全活動の現状と課題」 福島大学 菊地芳朗 氏

14:00~14:50 全体討議

○研究発表

15:00~15:30 「多賀城城下とその周辺におけるイベント堆積物」 相原淳一 氏

15:30~16:00 「宮城県における縄文時代のアスファルト」 村上裕次 氏

16:00~16:30 「陸奥国分寺の中世の五輪塔—三次元写真計測による復元と、五輪塔の造営背景—」 及川謙作 氏

○懇親会 17:30~ 当日会場にて申し込み受付します。会場:美彩ダイニング湯田(一般 5,000円、学生 4,000円)

2017.5.14(日) 11:00 START

研究発表会はどなたでも、無料で参加できます

会場：東北歴史博物館 講堂

※当日の会場は特別展開催中につき混雑が予想されますので、公共交通機関でのご来場にご協力ください。

